市況
元豆六吊一百至六吊
青豆價錢五吊九百文至五吊五百文
小米價錢六吊九百文至六吊二百文
紅糧價錢五吊二百文至五吊
合豆價錢四吊八百文至四吊七百文

全 全 同五圓
赤味噌 全 同四圓
札幌麥酒 大樽 同九圓三十錢
蜂印香竄葡萄酒 四打入 同九圓八十錢
全 同二十二圓五十錢

全 蒲燒 全 同二十三圓
筍 二打半 同八圓五十錢
梨 四打 同十一圓
桃 全 同九圓五十錢
人形ミルク 全 同十二圓五十錢

中等坂 全 十五圓至十七錢
一 全 切込 全 十四圓五十錢
澤鶴 正味四斗四升入 十七圓
サツポロビール 九圓七十錢
(宅合名會社調查)

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ヶ年以上 一ヶ月以内 銀十五仙乃至 長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

特別廣告

◀資本金貳千四百萬圓
◀積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

當店取扱貯蓄債券左の通當籤相成候

一等	一〇二二六
三等	九九三二九
五等	一〇二三三
五等	九九三二五
五等	九九三四二
五等	九九三五六

明治三十九年一月廿一日
横濱正金銀行牛莊支店

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部 河岸通(電話五十二番)

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市磐岐町三百三十八號 日華運輸公司
遼陽 遼陽倶樂部 谷口今朝太郎

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

宅倉名會社絓

本號前在營口東營元神廟街自造日本洒澤龜印幷一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街開設德院内分設支店一所發賣綵絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綫子洋陵鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屢臨爲幸
總司理人 田中賴之助謹白

♣東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

♣東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚還遇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

♣西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

♣仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北營乙第十二號

♣恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己并另設銀爐包營銘鑄以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

♣元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客賤辦雜貨布疋一概發行裝運沙寶船交易南北客商歷有年矣爲此謹白 開設營口西街老爺閣前路北營乙第四十九號

♣德商 瑞生洋行

啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議 營口西街潮溝西本行主人啓

♣代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟星象牌(斯達)櫻花牌(捷利)百合花牌(利利)均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

茲爲軍用手票公定行市變動敝行販賣各種紙然雙鶴牌(隆沽來福)百合花(利利)櫻花牌(捷利)星象牌(斯達)無論批發零售均爲格外減價倘蒙賜顧以廣招徠

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しけ子)
院主 森 鐈
醫長 鈴木昌平
營口永世街(電話一五五番)

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
(營口綏定門街ツブ商會東)
川喜鐵工場

一關内外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續
一船舶荷物取扱 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司 營口支店

島田洋服店 東營口郵便局東隣
同支店 新民屯停車場前

隆慶公司

開設在東關門外白有碼頭恬豊木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊炸子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

各種材木 廉價大販賣
塩川商會
營口永世街二本町

♣和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、鏡袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

♣田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣 荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號小野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

日商 東來醬園

本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆疊經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價值甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而鹽梅之効少若用此油則醬味調和必譜不特于衛生之道受益不少兼爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非務張之談矣 本園主人謹白

代理 道勝銀行

啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商 瑞記洋行代理人謹啓

雜貨卸商

在元神廟營口街
關東公司雜貨部

東京電報

●學生問題と警察の解警
（一月十九日特別通信員發）

清國學生の紛擾愈々鎭靜に歸せしを以て警察は全く其警戒を解きたり

鐵嶺電報

●馬賊の出沒我軍の討伐

鐵嶺の東北山間の村落に馬賊の出沒を見るに至れるを以て同地駐屯第〇〇聯隊の歩兵約二中隊は之を剿蕩せんが爲め本日出發バカサイに一泊の豫定にて搜索行軍を行ひたり（一月二十日發電）

倫敦電報

●智氏の當選

西バーミングハム選擧區に於てチエムバーレン氏は自由黨候補者の二千〇九十一票に對する七千二百七十二票の大多數を以て當選せり

●英親王の到着

コンノート公爵殿下の一行はスエズに到着せり

●統一黨名士の落選

統一黨の名士セシト、ジヨン、ブロドリツキ及びエツチ、チアプルンの兩氏は落選せり

●各黨の新議席

自由黨は百七十八勞働黨は二十七統一黨は七十六の議席を得たり即ち自由黨は九十の新議席を得たるものなり

●佛新大統領の性行

佛國新大統領ファリユル氏は刻苦勉勵自ら仕上げたる人にして性質磊落第二のルーベーなりとの評あり（以上一月十九日發電）

雜報

●露國財源の缺陷

露國か戰時及び戰後に於て財政に困難しつゝありしとは掩ふ可らさる事實なりしに露國は巧みに彌縫策を講して外面を繕ひ居りしが今倫敦電報の報する所に依れは露國本年度の豫算は五億二千萬圓の缺陷を生ずへきことを素破拔き而して尙之に附して同國政府は露國ルーブル貨の價格を維持する事に腐心しつゝありといふ

●西侯と政黨内閣

過日西園寺侯と大石正己氏との會見に於て西園寺侯は政黨内閣を完成する精神を示し新内 の顔觸に對しては定めし不滿足ならんも之れを諒せられたしとて今回内閣授受の眞相を語り事情斯の如くなるも結局内閣の基礎は之れを政黨に置かさるへからすとて漸次政黨内閣の發達を期するの意志を明言したる由にて侯の所説は大石氏より直に大隈伯に傳へたりといふ

●政友會總裁の訓示

去る八日午後五時より政友會本部に於て協議會を開きたるか其席上に於て西園寺總裁は大要左の如き訓示をなしたりと

今度我黨の内閣成立したるに付き爲政者をして弊政に便ならしめんことを望む就ては第一、獵官を戒めさるへからす獵官は徒らに現官僚に驚慌の念を與へ事務の澁滯を釀さしむるのみならず之れが爲め黨の歩調を亂すに至るへし第二、地方に於ける黨員は地方問題を提げて地方官を苦しめ分捕運動を爲すことを愼むへし分捕運動は地方官の施政方針を妨け地方人民の信頼を失ふに至るへし是我黨は憲政黨内閣時代に於て己に經驗し來りたることなれは諸君は天下の先覺者を以て自ら任し能く前者の覆轍に鑑み宜しく地方黨員を戒飭せんことを望む云々

●我が新造軍艦

臨時軍事費の名義にて現に設計中の軍艦は二戰艦、四裝甲巡洋艦、三巡洋艦、二九驅逐艦にして其の總噸數八萬五千噸内外なるが右製造所及び其造船經過は左の如し

▲戰艦安藝（一萬九千噸内外）本月中起工の豫定、製造所呉鎭守府
▲戰艦薩摩（一萬九千噸内外）工事中、横須賀鎭守府
▲裝甲巡洋艦筑波（一萬三千噸内外）十二月進水、呉鎭守府
▲同生駒（一萬三千噸内外）三月進水の豫定、呉鎭守府
▲同伊吹（一萬三千噸内外）八月進水の豫定、横須賀鎭守府
▲同鞍馬（一萬三千噸内外）工事中、横須賀鎭守府
▲巡洋艦利根（二千五百噸内外）工事中、川崎造船所
▲同淀（二千五百噸内外）工事中、川崎造船所
▲同最上（二千五百噸内外）工事中、長崎造船所
以下驅逐艦、潜行艇は之を畧す

●昨今の對淸貿易

對淸貿易は過般銀塊暴騰の結果輸出は旅況を來したるに反し輸入は一頓挫の止むなきに至りたるが爾來爲換暴落に慣れたる商人は漸次貿易品の出入權衡を得せしめん事に勉めたるを以て昨今は市場各商品の平穩と共に更に何等の變動を認めす唯た内地は新年にて荷動き閑散の時節となり輸出品は初商ひ後續て沈靜なれは輸入品も思ふ程の荷捌けなし然るに淸國は歳末を眼前に控へ淸商何れも決算期に際するを以て上海、香港の市場は金融の關係上多少の安直も忍んで賣出つるの止むなきに至り幾分好景氣なる品は本國よりの輸出を急くを以て對淸輸入品は茲許總して入津增加するの傾きありといふ

●韓國の森林經營

韓國に於ける森林は韓民等の濫伐の結果今日に至りては僅に鴨綠江及豆滿江岸の僅少の森林あるのみにして其他は悉く荒廢の有樣なるが農商務省にても之が爲め先般特に委員四名を韓國に派し調査せしめたる結果目下其救濟並に造林經營及諸般の設備等に付き專ら考案中なりと云ふ

●海上權分有説

ナショナル、ド、イタリーは曰く英國の海上優越權は現世紀の前半に於て衰頽の傾きを示すへく而して其太平洋に於ける海權は同盟國たる日本の掌握に歸し米國は太平洋の監視權を得るに至る外甞て地中海の主人公たりし伊國は再び其舊位置に復し獨乙は波羅的海に主權者たるへしと

●國債償還と豫算

第四回國庫債券の償還は本年三月までの外債拂込金を以之に充る筈に 抽籤は二月五日、償還期は三、四、五の三個月の三回に分つ事に定めたるが右は議會の協議を得る必要あり三十八年度追加豫算として提出さるゝ筈なり而して第四回分濟み次第直に第五回の國庫債券償還に着手する筈なるが此分は三十九年度豫算として今豫算に編入しあれは其時期等は多分豫算確定後に於て決定さるゝならんと

●韓國鑛山と民業

韓國鑛山に關しては目下鋭意調査中なるか其採掘は一切民業に任し政府に於ては臨機之れを買收するか或は一部を採掘するに止め而して其業に關しては政府より便宜を與へらるへく調査結了次第之を發表して一般斯業者の參考に供すへしと云ふ

●製鐵所の使用炭

製鐵所に於ける本年石炭消費高概算は六十萬噸なるが所屬炭坑の採炭高は四十萬噸に過ぎさるを以て二十萬噸は撫順炭を輸入するか又は日本炭を使用するかにつき目下其研究中なりと

●獨乙探照中隊の組織

ベルリーナル、ノイエステ、ナツハリンヒテに依るに獨乙陸軍は今回陸戰に探照燈を應用すへき要を認め探照燈中隊を組織する事に決し地雷中隊の技師より隊員を選定したり同中隊は六十馬力の自働を有し發電機一切は同自働車に裝置せられある者なりと

●暹羅皇儲御再遊

前年本邦に御來遊ありたる暹羅皇太子殿下には再び本邦に御來遊あらせらるゝ由其筋に内報ありたり

●米國勳章制定の議

北米合衆國にては勳章制定の内議あり目下各國より勳章の見本を蒐集しつゝありて我が宮内省へも既に其申込みありたりと云ふ

●東北三縣米作高

内務省に於て調査したる東北三縣凶作地の三十八年度米作收穫高左の如し

宮城縣	十四萬石	一歩二厘作
福島縣	三十一萬石	二歩五厘作
岩手縣	十九萬石	三歩三厘作

●大觀兵式と戰時服

本年四五月の交を以て東京に行はせらるへき陸軍大觀兵式には將校以下 兵卒に至るまで悉く三十八年式戰時服を着用せしむる事に内定したる由にて其筋に於ては取急き準備中なり

●坂田本多兩書記官

大使館二等書記官阪田重次郎氏は英國在勤を公使館二等書記官本多熊太郎氏淸國在勤を命せられたり

●暹羅よりの寄贈金 暹羅國にては愛國婦人會の事業を賛成し今回邦貨二千八百六十三圓九十五錢を寄贈し來れりといふ

●京義線隧道貫通 京義線に於ける最長隧道楡峴の工事は豫定より三月早く貫通し去る九日開通式を擧けたりと

●統監府開廳期 我在韓公使館は來月末日を以て閉鎖すへきにより統監府は其翌日即ち二月一日より開廳することに決せりといふ

●全院委員長候補者 衆議院の全院委員長は多分進歩党より選出せらるへく加藤政之助氏呼聲最も高し

●行政裁判所長官 松岡康毅氏の後任として同裁判所部長山脇玄氏任命せられたり

●統監府通信管理局長 一等郵便局長兼遞信書記官池田十三郎氏は今回統監府通信管理局長に任せられたり

●軍用列車の脫線 去る十七日午前二時大垣驛を發したる軍用列車大宮驛にて脫線乘組凱旋兵即死一名負傷者四名を生したりと

●鮫島海軍大將の辭意 鮫島佐世保鎭守府司令長官は比較的年少者たる井上大將既に退職したるのみならす後進將校の進路を遮るは本意にあらすとて退職の意ありといふ

●澤柳局長渡英期 英國倫敦大學の請ひにより日本教育制度の沿革講演の爲め渡英せらるゝ澤柳普通學務局長は來二月六日頃横濱解纜の滊船にて渡航の豫定なり

●撫順炭の試驗成績

撫順炭礦の炭量に就ては夙に無盡藏を以て稱せられ其豐富に就ては最早疑を挾む者之れ無きに至れりと雖も其品質に就きては未た聞く所あらさりしが今回我が製鐵所に於て試驗せし成績を聞くに機關燃料又は瓦斯製造燃料としては最も適當なるも泥土の如きドロ／＼せる瓦斯殘りて鐵網に附着するを以て同炭を使用するには機關内部の構造を改造するの必要あり又瓦斯は泥土の如くにて凝結力なきを以てコークスの原料にはならすといふ

●鐵嶺の材木

最近歸客の談に依れば近頃鐵嶺に於て最も不足を覺へつゝあるは材木類にて其の價格は營口及び大連の相場に比較し約二倍の高價に在り即ち板は六分物三圓内外杉丸太は經二寸以下（二間物）一圓、修繕用は二寸五分以上三寸一圓五十錢位なり而して全人の計算する所にては營口より鐵嶺迄で材木を輸送すとせば爲に要する運賃は貨車一臺に付約二十圓なりとなり、尙は全人の談に依れば目下の所食料品は何品に依らす一通りは在る如く其の相場も營口の相場に比し大差なく高き物に在りて僅に二三割方高位にある位なり殊に淸酒は其數甚た多く目下の堆積數は實に一萬樽以上に及ぶと稱へらる、

●日本人會の現狀に就き

日本人會評議員中に某溫厚家？あり同會の現狀に付き記者に語りて曰く

日本人會の現狀に對する質問には答辨に頗る若まさるを得す蓋し同會は御承知の如く殆んと根本的改革を經て今日に及びしもの然かも行動は依然として改らす從ふて非難亦た異る所あらし更に一回の改革を加ふも格別の効能を覩る能はさるは過去に依り十分に推察するに足るべし三十餘名の評議員中には日今尙ほ改革を絶叫する者無之に非すと雖も余は以上の見解を持するを以て贊成に躊躇しつゝあるも然れども現狀を以て滿足すへからさるは固より言無き所とす何の方法か果して日本人會を刷新するに足る止むなくんば即ち手近の問題に付き解決の實行を企て漸を以て衆望に酬ゆるにあるあらんのみ

所謂溫厚家の說とは斯の如き不得要領を指すのか吾人は日本人會に對しては門外漢なり然かも過去に於ける改革？の有志組織を居留民組織に變更せんか爲なりしを知る軀々評議員に列する者に於て豈に之を知らさらんや夫れ既に組織の變更のみ呼で改革と云ふは語蔽も甚たし即ち之れ膨脹也、當時識者は改革を企圖すへき無上の時機たるを觀取せさる無きに非らさりしと雖も或一部の運動は終に改革の實行を妨げ單に組織の變更即ち膨脹を以て止みたるは一般在留民の熟知する所也當時に於ける一部人士の意中を忖度せば或は此の膨脹を改革と稱へ以て當然後日に起るへき眞正の改革を妨止せんとするの意思なりしやも知るへからす然れとも以て公衆に對せんとせば即ち仰ぎ唾すると同きのみ眞正の改革なる者は病根を觀取し一刀の下に斷絕するに在り僅に組織を變更し病源に於ては少しも關するなく然かも呼で改革と稱ふ如何に善中を善意に解釋せんとするも豈に一點の疑なきを得んや進て語る所の要領を得さるは固と其の所平斯の如き說を持する者を以て溫厚家と云へば溫厚家は即ち小人の異名のみ否ざれば即ち愚物の骨頂のみ奇なるかな、日本人會評議員中如斯徒多少の尊信を博しつゝありとは日本人會の腐敗抑も偶然にあらじ

●車揖局の開設

是迄警務課の一部をして荷馬車馬車人力車營業に關する一切の事を管せしめしが今般軍政署の南側三義廟内に車揖局を開設せしに由り同營業に從事する者及び之に依りて荷物を運搬せんとする者は自今同局に出願す可しとなり

●營口の淸酒 其筋の商人の計算に依れば目下營口に在る淸酒の主なるは鳳凰正宗、金露、及び澤龜にて其數量は鳳凰正宗六七千樽、金露二千樽、澤龜二千樽其他は大底五百樽以下なりと云ふ因に鳳凰正宗は過般滿州軍倉庫營口支庫より千樽を買上げられたりとなり

●食料品及び糧秣の競賣 本紙軍政署告示にある如く撫順大野兵站司令部にて來る三十日午前九時より食用品及び糧秣品を競賣に附する由因に現品の縱覽を望む人は來る廿五日より同兵站部内に於て許さると云ふ

●當正金扱の貯蓄債券當選 嘗て當牛莊正金銀行支店にて取扱ひたるト號貯蓄債券中此度第一等に當選せる者ありしことは過日の紙上に記載せる所なりしが今回同支店にて扱ひたる債券中の當籤總數は合計六個にして一等一（一〇二二六號）二等一（一九九三二一九號）五等四（一三三三號九九三一五號九九三四二號九九三五六號なりといふ

●本願寺の日曜說敎 當地永世街矢野洋行向側なる本願寺出張所には本日午後一時及び七時の兩回（營口時間）日曜說敎を開きて「絶對他力は宗敎の極致なり」との演題にて寺本布敎師より說敎ある由なり

●料理店組合積立金に就て 當地旅館料理店組合の積立金は每月一軒に付銀五圓宛徵收し積立中の處去る十二月末の精算に依れば其額殆ど二千圓の多きに達し總て正金銀行に無利息當座預金となせりと云ふ、之に就き某氏の語る所に依れば當地の如く金利の高歩なる土地に於て大枚二千金を無利息當座預けとなすが如きは愚の至りなれば何とか元利增殖の道を講すると最も至當なるへし左ればとて今之を危險なる擔保品若くは事業に放下し些少なる金利の爲め却て元利をも併せ失ふが如き危險を冒すも亦策の得たるものに非されば之を以て勸業債劵又は貯蓄債券等確實なる債券を購入するとせば啻に安神して相當の利殖を得るは三才の童子も了知する所なるのみならす亦一朝幸にして當籤すれは一躍して幾千金の利益を得るやも計り難し 是れ一は國家に對しても幾分盡せし義務なり旁々組合に於ても大に利益ある方法なれば宜しく今一應集會を開き協議しては如何云々と一說と謂ふべし

●退去者卅餘名 昨年十二月末より本月十五日迄に於て關東洲民政署及び遼陽、奉天、鐵嶺、大石橋其他關東洲管内の各兵站司令部に於て退去處分を受けたる者實に卅餘名にして就中關東洲民政署より退去命令を受けたる者其大半を占む而して罪名は治安妨害、不正行爲、無賴行爲、秩序紊亂、公安妨害、旅行取締規則違反、風俗壞亂、詐僞行爲、不法行爲等にして中にも犯罪の多きは公安妨害者にして實に十六七名ありと何れも一ヶ年乃至三ヶ年の退淸處分を受けたりと云ふ

●新年十日間の登樓消費高 初春を宛込み各料理店は室内の裝飾其他萬端の設備に意匠を凝し藝者仲居等は四苦八苦の苦しみを恐んで夏着を一六銀行に當座預けをなすやら二本棒のデレ助を瞞着しこ紋付二枚重或は三枚重と夫れ／＼腕に應じて新衣裳を調製しいでや大に懷中を暖めんと待ち構へたる正月も宛事と越中褌は向ふから外づれるの諺に違はず案外なる不景氣にて元旦より十日迄の各料理店の揚り高を見るに合計二万六千五百九十八圓六十七錢にして昨年の十二月廿日より卅一日迄の揚り高と大差なかりしと自然諸裙の懷も近頃の寒さよりも尙一層甚しきとは千萬お氣の毒な次第なり、所で登樓客を計算すると合計四千七百八十四人にして内在留邦人三千九百〇五人軍人六百六十七人支那人百九十一人外國人二十一人なりと頭數より算用しても消費高の尠なきは愈々不景氣の現象なり例に依りて最も揚り高の多き料理店を揭ぐれば第三の二千八百四十八圓三十錢日本の二千八百九十七圓七十錢金城の二千六百七十五圓祇園の二千〇三十四圓七十錢等なりと云ふ

●荷馬車稅の正誤

昨日揭載の荷馬車取締規則第六條中臨時車籍の登錄を申請する者は一輛銀一圓とあるは銀三圓の誤に付此に訂正す

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇

驛名	發着時刻		
遼陽	着午後 三、五〇	發	四、五五
大石橋	着 一〇、三二	發	一一、三五
金州	着翌前 二、二〇	發	三、一〇
大連	着 五、三二		

上り列車

旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二

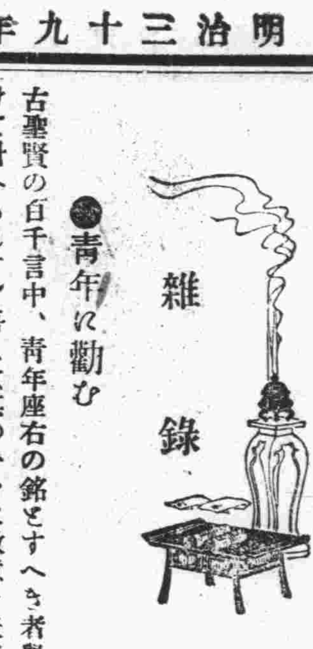
營口線下り列車

大石橋	發午前	一、〇〇

天氣

營口地方 自昨日午後六時 至本日午後六時 晴し

雑録



●青年に勸む

古聖賢の百千言中、青年座右の銘とすへき者擧けて計へられす。吾人は其の一々に敬意を表するに躊躇せさるも、若し新年を賀すると共に强て新たに勸告する所なきを得ずとならは、當さに三句を提供すへし、曰く、水浴せよ、散步せよ、熟睡せよと。是れ凡の最も凡なる者。固より銘とすへきに非す、而も能く之を行は〻、豈に得る所なからんや、豈に得る所なからんや。」

水浴せよとは、言ふ迄もなく冷水浴せよとの意味、其の効能は一般に知られ、言はてもの事と見えんも、之を行ふ者の甚た少きより察すれは尚ほ益〻勸奬するの必要あるを覺ゆ。困難なるは言ふへくして行ひ難きも、井水若くは水道の水に浴し、後ち布片を以て摩擦するか如きは、何程の勞にあらす、實に僅かはかりの奮發に過ぎす。而して其の僅かばかりの奮發は、啻に皮膚を强くし感冒を防くのみならす、又た自墮落を防止するの益あり。往昔の羅馬人か河氷を割りて浴せしといふも、一種の妙趣あらすや。頼りに水浴して心身の强からさるあるは事實なるも、是れ病根の別に存する者其の水浴するは、せさるに優るに相違なし水浴する者は病氣ならさる限り、大抵襟捲きせす、火燵を擁せす、少くも外貌に於て意氣の壯んなる者あり。寒氣に辟易せさらんとせは此の如く有効なるあらす。

散步せよとは、成るへく郊外散步を勸むる者なれと、必ずしも然りと限らす、雜還せる十字街頭亦た可とすへきが、さる意味にては何人も行ひつ〻あるらしきも、散步すへき時間ありて散步せさる者到る處に之れ有るは何ぞ。トーマス、ゼファルソンは散步を以て健康を進むる第一法と爲しぬ。競技運動は或る種類の人に適せされと、多少の散步は何人にも宜ろし、蒲柳の質と雖も妨けなし、胃に善しとは早くよりの格言なるが、精神に善きこと次第に多く認めらる鬱を散するは是に於てすへく、自ら省みるは是に於てすへく、思想の秩序を定むるも是に於てすへし。室内の小天地に跼蹐するよりも、日星の下に逍遙する方、遙かに頭腦の運用に自由なるは、明白疑ふへからすビスマルクの雄大なる計畫は多く散步中に立てられたり。

熟睡せよとは、睡むるへき時に充分に睡よといふ事なり。睡むたくは飽くまで睡むれ棺の中とあるも、睡むたきは熟睡を缺けるが爲めにして、睡むるべきに睡むれは、睡むるへからさるに睡むたからす。かの益もなき事に屈託し、妄想に耽ればこそ、睡むらんとして睡られす、うつら〱夜を明かし、日出で〻後ち起るに辛らく感ずるなれ苟も能く熟睡する、如何に短時間なるも他の長く臥床に在るよりも疲勞の癒ふへきや必せり、奈破崙の如き、グラッドストンの如き、皆な多忙を極めしもの、されと能く熟睡するを得たり。宜しく熟睡を以て人生の重要事と心得、睡むるべき時に總べてを放擲して睡るに勉めよ、睡むるか如く睡むらさるか如くなるは、害を及はすこと甚たし。(日本)

●成功の眞意義

澁澤榮一

抑も成功といふのは如何樣なことを指すので御座いませうか、商人が一圓の物を買て一圓二十錢に賣たといふのも、成功といへば矢張り成功には相違ないやうであります。又た今日園遊會でも開かうといふのに、昨日まで雨天であつたのが、俄にお天氣になつたと申すやうなのも、矢張り一つの成功と云つて云へない事は御座いますまい、普通の成功したといふのは、ツマリ其目的を達した場合には、大なり小なり總て之を成功と申すやうで御座いますが、成功といふものは果して其の結果のみに依て之を判斷す可きもので御座いませうか、私は決して左樣でないと信ずるので御座います、例へは彼の赤穗の四十七士の如き、各己れの利達を棄て、數年困苦艱難して君の仇を復して、さうして腹を切つたが併しこれは慥に成功に違ひはないので誰しも腹を切るのは痛いには相違ない、即ち四十七士は其安きを棄て〻其難きを取り、其信する所を斷行したので御座います、楠正成と足利尊氏あれは何方が果して成功で御座いませうか、正成は湊川に戰死し、尊氏は大將軍として子孫十數代續きました。併し正成は國家の爲めに名譽の戰死を遂けた失敗の成功者であります、即ち成功は、其結果より觀ねばならぬ、然らば其成功と不成功といふとは、何に依て區別するかといふのに、其は取りも直さず、唯だ一つの道理にあるので御座います、其所行にして苟も道理に叶ふてさへ居りますれば、其結果は幸福であらうと不幸であらうと、毫も問ふところはないので御座います、即ち孔子の仁を求めて仁を得たるものである。

●我國民の方針とす可き五箇條

文學博士　村上專精

國家的觀念に於て日本人は歐米人に劣らざるも、其他に於て劣るところ多し、故に予は其劣れるところに就て、自ら先じて之が實行を努むると共に、予が家族をも誘導して實行せしめ、又從つて予の今回創立したる東洋女學校の生徒を敎育するに方りても、五ケ條の方針に基きて從事する所あらんと欲す。曰く

第一、處世のため一日も懈る可らざるものは其身の攝生なり

第二、獨立のために一日も忘る可らざるものは自治の精神なり

第三、修身のため一日も忘る可らざるものは廉耻と忍耐なり

第四、人道の爲め一日も離る可らざるものは、宗敎的信念なり

第五、公共のため一日も忽せにす可らざるものは、個人の職務なり

是等の事項は、小學兒童と雖も皆旣に熟知する所にして、而かも社會の實際に於ては、高等敎育を享けたるものも、猶は實行に難しとするところなり。而して其攝生、獨立、修身、人道、公共の五項は、共に歐米諸國の人種に比して、吾國の遙かに劣れりとする所なり。今や我が國の戰捷の餘威を以て、世界の列强と相伍し、激甚なる競爭場裡に出で〻而かも能く其の任に堪へざる可らざるの秋となりぬ、是に於てか、戰後國民敎育の基本として、吾れ人共に造次も顚沛も忘る可らず、忽せにす可らざるは、此の缺所を補育し此の短所を排除し、以て國民の根底を鞏固にせざる可らざるに在り。

●交際及び容貌

安部磯雄

余が米國に行く度に驚嘆するは、彼の國人の交際上手なることなり。殊に其の婦人の如きこれを我が日本の婦人に比せば著しき差異あるを覺ふ。これ蓋し彼の國人の善意に富めるが故にあらざるか。

余は今回の媾和に對して何等の不滿を抱かず、然れども若し有りとすれば是れ兩全權が交際術の巧拙に依る兩國全權は同旅館に宿泊せり。一方は廣く新聞記者を引見して、歡晤し厚待し、談判の經過に就ても親切に語るに、一方に於ては東洋流の豪傑は、飽くまでも沈默主義、秘密主義を守りて記者等の質問に遇ふも甚だ無愛嬌なりとせば、彼の國民衆の感情は果して何れに向くべきや。余輩彼の國の人情を解するもの、見るが如く其光景を想像するを得る也。古よりの偉人豪傑は決して無愛嬌なる人にあらざりし如し。今にしてこれを見るも、例へば大隈伯の如き、藤侯の如き實に交際に巧みなる人なり、交際なき人は周圍に大なる感化を與ふる能はす。故に余は今後、敎育界、政治界に於ても、實業界に於ても非常なる勢力を有するに至る人は必す交際的の人なるへしと信す、多くの人に好意を與ふる人にあらざれば到底大事業を統轄するあたはず、然れども交際は決して外面丈けなるべからず。眞に偉大なる品性の奧底より流れ出づるものならざるべからず。赤心より出でたる八方美人主義は寧ろ吾人の望む所也、余は特に婦人に於て然るを感ず、婦人快活なれば一家必ず幸福也。春風駘蕩、和氣洋々たるは實に婦人の感化なりと信す。

更に又一言したきは人の容貌に關して也。こは心理學書にも云ふ所なるが、人の精神によりて容貌を變ふることとか得ること也。容貌は必ずしも天成にあらず。心内自ら外面に表情し來るは事實の示す所也。近來青年男女頗る外貌に注意するの傾向あり。容貌を氣遣ふは若き男女の常なれば決して惡しきことにはあらざれども、啻に外面の美を飾るのみならず、これを内より美化するの工風なかるべからず。若し外貌甚だ揚らざる人も、内に品性の氣高さあらば、其の人の顏は必ず道德美を以て輝かん。

●紹介添書に就ての注意

十五銀行頭取　園田孝吉

英國では交際を結ぶのは、甚だ嚴格なるものになツて居りまして、未知の人とは決して、話をせぬやうになツて居ります、假令ば汽車中でも、差向に居る人に對しても無暗に話をすることはありませぬ、人に合ふにも日本では、一片の名刺を出しますれば、面會して呉れまするが、英國では知人の紹介がなければ、人には會はんことになツて居ります、併し此の添書は、日本に行はる〻が如き輕々しきものではありませぬ、英國では添書を人に與ふるは容易なものでない、此の人は如何なる身分の人にして品行は如何なる者なるやを、能く辨へて此の人を知人に紹介するも、他日知人に迷惑などを掛けることはありませぬか、又之が爲め自分の名譽を傷けるやうなことはあらぬかと、能く思慮を爲して後其人を紹介する添書を與ふるのです。すると添書を受け取ツた方の人は、添書を送ツた人と同樣に其人を待遇するのです、是れはさうなければならぬことで、添書をよこされた方の人は、添書を持ツて來た人を、飽まで自分の知人として、之に對すると同樣の待遇を爲すは、最も喜ぶべき風習で、日本人などは、深く此の點に注意せねばならぬ所です、日本人の中には米國の知人から、添書を持ツて來た外國婦人でもあると、喜ぶ所が如何にも迷惑さうな、御義理合に其人に合ふ位で、御馳走も何もしない人も、見受けられますが、かやうなことでは、到底立派なる交際場裡に立つことは出來ませぬ。

第三樓某女に與ふ

君江

きのふも過ぎぬ今日も亦
むなしく汝をまちわびぬ
言ひ置きたりし言の葉を
忘れたるにはよもあらじ」
堪へぬ思ひに只一人り
遼河の水も凍るてふ
この寒そらもいとひなく
君がすまゐの第三樓」
歌ふ聲音や絲の音に
耳そばだつる哀れさよ
冴えたみ空の月のごと
高く淋しく亦低くし」
間も無く絲は音を止めて
おばしま近く汝が姿
アヽとさけびしむねの中
知るや知らすや君こよひ」

告示

告示

登記規則中改正の件

不動産登記規則中左の通り改正す

第十六條第一号中「千分の五十」を「千分の三十」とし同第二号「千分の十二」とあるを「千分の十」とす

告示

撫順大野兵站司令部にて來る三十日午前九時左の食用品及び糧秣品を競賣に附す二十五日より現品の縱覽を許す

競賣品目

干飯七十石携行牛鑵二千八百三十六貫普通鑵詰肉一万二千四百十四貫擣鯛三千二百四十四貫茶三十五貫砂糖六十貫甘味品十四貫干魚六百三十貫干野菜一千百二十五貫醬油エキス五貫精米二十九石制麥二十石

牛家屯兵站司令部

廣告

緊急廣告

本會雇員をして各戸に就き本會々費を徴收せしめ候間本會印を捺押しある領收證と現金と御引換に御渡し相成度此段廣告候也

明治卅九年一月十八日

牛莊日本人會

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候

金城ホテル
旅館部

藝妓仲居新來披露

今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候

但し凡て純粋の江戸ッ子

金城館料理部

素謠大會

一會場　日本館
一會費　茶菓料五十錢
一時日　本月二十一日零時

右諸流聯合素謠大會相開き候間御同好の諸君は御來會を乞ふ

本會に付御問合を要せらる〻御方は關東公司又は盛進商行へ御問合可被下候

一月十六日

發起人

御料理　會席

營口永世街　南隣慶樂温泉

一力

堀万助

移轉並ニ別嬪新來披露

弊樓儀諸彦の御引立に預り日増に繁榮に向い候段難有奉謝候從て是迄の處にては手せまに御座候間今般西の辻西へ入る元小錦樓跡へ引遷是迄通り營業仕り候間何卒舊に倍し新來別嬪とも併て御引立あらんことを願上候

營口永世街平野町

御手がる會席御料理並に鋤燒

御花客樣

都樓主謹白

藝妓仲居新來御披露

此度新たに内地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂ホテル

高砂　(電話一四五)

特別廣告

一月十二日營口旅館料理屋組合總會に於て協議の結果左の通り決議す

一藝妓線香代　一時間銀貳圓四拾錢

但二月二十日より實行す

右之通り改正致候に付組合員に於ては誠實叮嚀を旨とし各店異動なく一定の價格を可申受候に付舊來に倍し御引立の榮を賜らんことを伏て奉願上候依て此段及謹告候也

一月十三日

組合
正取締　谷口今朝太郎
副取締　粕谷忠兵衛

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔　接待優遇懇切

開放全時＝開業　奉天小西門外大街路北

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

謹賀新年

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

書籍、銘茶　賣藥、雜貨商
博文館營口代理店
大坂屋

本家　日本東京神田鍛冶町　堀内大藥房

あさだあめ
淺田飴

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣　營口永世街　東瀛大藥房

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前　池上出張店
奉天　池上出張店

標子　木板　料木　發賣

營口青堆子
清水寧木局

澤亀は醇良にして風味高尚なり

並ニ　札幌ビール　朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙草　朝日　大和
酢　醬油　瓶詰樽詰
菓子色々　罐詰
洋酒類　取次販賣

釀造發賣元
宅合名會社
本店　大阪府堺市九間町
小樽支店　北海道小樽港町
臺北支店　臺灣臺北街書院
基隆支店　臺灣基隆街石牌
臺南支店　臺灣臺南街下南河
函館出張店　北海道函館區辨天町
遼陽出張店　清國遼陽城內西街
大連出張店　清國大連監部
營口支店　清國牛莊港東營口

雜貨

醬油　味噌　清酒

營口西北街
阪神組

倉庫業

倉庫位置
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余
商船會社碼頭筋向イ
河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置

營口綏定門街（公和窰）院內
新玉號倉庫部
（電話一五七號）

正札特別廉價
雜貨
賣出し

一婦人髮道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一罐詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋
永世街森病院隣
和清洋行
志田ます

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元　大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣　關東公司雜貨部

工

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

寫眞　永清
奉天府　大南門裡路西

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

酒保品　諸雜貨　卸商
神崎洋行
營口永世街甲百廿七號警務課前
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類

卸小賣
其外新荷着精々安價販賣

石原商店
營口永世街百七十號（第二市場東東）

福

●清酒白鶴
●北海道產玉葱
其他雜貨色々

大連揚汽車便
最新着荷

元神廟街
㊗田中洋行

御旅館

奉天
茂林館
小西邊門內路北

日本物品依托賣買幷ニ滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ
追テ
家屋宏壯接待優遇

時刻

山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
塘沽至北京　上六、〇〇　下一二、〇六
唐山至天津　上……　下……
天津至山海關　上六、二五　下六、二一
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝幇子至新民屯　上一一、〇〇　下六、五七
遼陽發　六、二三　奉天著午後一二、〇六
上り列車　奉天發午前一一、〇〇　……七、二〇
驛名　發著時刻
大連發午前七、三〇　旅順着一〇、四九
營口發午後……　大石橋着翌前……一二、二〇

宮門抄

二十三日

莊王得紀錄謝　恩　善豫假滿請　安　崑中堂等得賞貂皮等件謝　恩　掌儀司奏初一日祭

奉先殿　溥侗行禮

內務府奏派　堂子掛紙錢　派出繼祿　又奏派恭懸收

聖容　派出恭王　醇王　又奏派

壽皇殿恭代行禮

派出醇王　又奏派　時應宮拈香

派出海年　關防衙門奏初一日

大高殿拜表醇王行禮

召見軍機

提督衙門奏拔北營叅將王漢池遊擊王雲龍守備王得祿千總張景和把總胡榮高鍾山王明外委王聯煇候補把總張得寬崔權候補外委李文明夏起山劉昆白瑞會同大興縣知縣王繼武協同南　叅將曾崇蔭遊擊徐鎮邦守備李濤千總王錫恩把總孫福田外委王永泰候補把總王景祿江鴻賓候補外委王景榮江鴻明陶得山帶兵在安定門小關北並正陽門外各地方拿獲結夥執持洋鎗白晝攔路迭次搶刼行人之盜犯王五即黃鼠狼劉得山即劉老劉峻銹即劉二羊兒白二白金宋樹魁即小宋等五名又據南營叅將曾崇蔭遊擊徐鎮邦督率守備王耀明候補守備李亮楊致祥等會同降調都司金如鑑等暨各紳董帶同弁兵等在崇文門外磁器口等處拿獲結夥持械綑縛事主迭次搶刼盜犯周占鰲等十四名又據左營拿獲結夥搶刼盜犯小龐等一名均請　旨交刑部

上諭恭錄

二十三日奉

上諭前因入冬以來雪澤稀少經朕兩次虔申祈禱京師得雪尚微據載潤載瀛儒林袁世凱等先後奏報天津一帶已得大雪遵化州易州山海關及保定各屬均得雪二三寸不等田疇一律霑潤寅感實深允宜先申報謝本月二十六日朕親詣　大高殿拈香　時應宮仍派溥偉　昭顯廟仍派載洵　宣仁廟仍派載濤　凝和廟仍派溥倫同于是日分詣拈香以答　天庥仍冀　昊蒼眷祐　鴻貺頻邀渥沛祥霙郊原沾足用慰農望欽此

上諭袁世凱奏請開去兼差一摺現在時事艱難正資整頓該督公忠素著任事實心仍着統籌兼顧妥爲經理以副委用毋庸固辭欽此

上諭曹鴻勛奏續查屬員賢否分別舉劾一摺陝西試用知府程崇信候選知府劉膽漢鄜州直隸州知州等啓恂補用同知姜渭長安縣知縣胡啓虞渭南縣知縣張世英盩厔縣知縣曾士剛調補華州知州褚成昌固城縣知縣徐普朝邑縣知縣易國勳即用知縣吳庚補用知縣蔡寶善候補知縣丁禧翰李煥墀均着傳旨加獎候補道羅壽昌性近貪橫被控有案着即革職勒令回籍候補直隸州知州多齡昏庸篤老不宜實缺縣知縣朱㴋臣辦事竭蹶難任煩冲均着開缺另補候補知縣郭維藩穢蹟彰聞不堪造就葉星文猥鄙貪庸難膺民社試用府經歷殷榮昌曾受官刑寧陝廳分防江口主簿徐廷玉苛罰擾民定邊縣典史熊毓藻抗賠官物試用從九彭名駿奉差營私鄠縣鴻治張皇喜事試用典史寇正官場不齒試用未入流蔣瑞臨浮佻鮮耻郿山縣教諭張祝祥行止卑污撫標中軍叅將祝鑑延年老貪橫營務廢弛洵陽營守備王忠美比匪爲伍分防龍駒寨汛千總雷鳴春縱賭漁利分防臨潼汛把總姚玉麟嗜利營私分防渭南汛把總朱槐芳貪婪成性着一併革職以肅官方餘着照所議辦理該部知道欽此

中外要聞

●俄使欲知中日條約　俄國欽差日前至外部言中國不宜中日約條俄國不能開議外部堂憲答以中日約係奉　旨不准宣洩貴國開議不干中日條約如貴大臣必欲知中日條約俟中俄開議時內有關於東清鐵路一條請貴大臣閱看云云

●王大臣閱看中俄交涉錄　昨聞外務部已將光緒二十九年至光緒三十一年所有中俄交涉大有關係條件均錄送軍機政務王大臣閱看矣

●膏捐辦有成效　聞柯逢時侍郎遜菴前奉　旨飭辦八省膏捐已將章程咨送戶部存案先擬試辦聞此次所辦膏捐頗有成效除用欵外正項之欵二百一十餘萬政府已發電致各省督撫飭令仍照柯遜菴侍郎章程一律照辦以昭核實而重欵項云云

●堂官赴庫監收　近聞戶部銀庫由十九日封印之日起至二十一日止每日請堂官二員赴庫監收各省解到各項捐欵各金店並各匯兌止雜合欵除發欵共應收三百八十一萬餘兩之譜頃聞各堂擬定本部封庫之期于二十八日禁止收發各欵云

●太后加恩賞賜御藥　聞慶親王前因勤勞國事微有小恙連日未能入朝昨聞　皇太后加恩賞賜御藥想不日定當痊愈矣

●政府議通飭各省布政使司　政府各大臣議擬通飭各省布政使司所有管糧守道遇有升降將一應經收經放庫在錢糧逐一造具清冊交代新任至所交代文冊若布政使有升本省巡撫者飭本省總督確查具奏如無總督省分該撫不便具奏令新任核明具題如升調別任並降革事故離任者均令巡撫題奏其錢糧有侵欺透冒挪移墊解等弊均照例處分至各督撫有矇混徇庇入奏者事發將督撫一併嚴加議處

●洋商請開辦鉄礦　聞福公司洋商請于河南懷慶開辦鉄礦製鉄前經河南陳中丞駁斥不准誠恐洋商赴部交涉咨行商部請予辦駁茲已接到該部復文略謂如果向本部商辦自應飭駁以固利權云云

●政府知重新疆　新疆巡撫一缺邊遠瘠苦兼以近來彊俄偪處交涉棘手故遇簡調之時內地慫慂聲色之大吏多不願往以致潘革撫售地鬻爵無所不爲幾釀邊患政府鑒此議改新疆爲新伊總督改伊犂將軍爲巡撫作爲邊疆要缺如該督撫出缺後由內地巡撫藩司簡選具有長才者開單請　旨調用無分滿漢更擬另籌巨欵協濟庶可杜外患而固邊防聞此事已電商伊犂將軍長庚矣

●德國在膠州灣貿易之發達　自德國占領膠州灣以來建築兵舍設備操場敷設山東鐵路業已不遺餘力然就此點觀察之不過爲軍事上與政治上之目的而從他方面一觀則德國其意擬龍蟠膠州灣而伸展其遠東之貿易又自無疑義也按膠州灣之麥酒公司規模甚小其釀造額不過供勾留德人之飲料然其商店之設立大概兼備彼國之工藝品與日本之雜貨等販賣之於華人且一至濟南一帶德國人遍設雜貨店於鐵路沿線之村落或使華人爲代售故彼國工藝品之進口尤爲不尠也德國政府又令漢堡　船公司開行上海青島間及青島烟台天津間之航路又於濟南府設置貿易事務官以計中德貿易之發達此外又擬延長山東鐵路至天津以爲連絡京津兩線握北清貿易之主權然因格於華人恢復利權之問題未易實行其策且偶有所感宣告膠州灣之撤兵舉竟於經營中國撤去無益之設備以買華人之歡心欲圖遠東貿易上之實益而已

●密陳學務　聞直督袁慰帥密陳各省學堂章程雖經奏定究多未盡完善之處擬請修改分爲三大綱係教授法勸勵法管理法

●營口車捐局章程

爲整頓車捐一體祗遵事竊查營口乃商賈雲集之地百貨轉運之區每逢冬季馬車往來絡繹不絕是以本署於客歲設立車捐局稽查弊竇詎意人心難測不遵規則出入每多隨便若不嚴加整頓誠恐良莠不齊致使捐務有礙爲出示諭仰爾商民一體週知自示之後凡有馬車須赴局起票或裝何等貨物尤宜報明查驗然後再行出入倘有希圖繞越抗違不遵一經查出定行嚴拏訊辦決不姑寬茲將新立規章各條開列於左特諭

計開

第一條　本署設立車捐局凡四外馬車裝運貨物來營以及本埠馬車裝貨運往各處者均按新立規則照辦以昭愼重

第二條　本埠馬車裝貨物每年於四月九月兩次該當務赴局查驗車体將車東原籍名姓登錄書明請領車票而所載貨物亦務臨時報明以給執據方准放行設有新置馬車必須赴局起票後再爲裝貨倘若查出無票馬車立即不准使用以重規章

第三條　車戶原籍固宜報明注冊若該車戶意欲棄去或轉售他人舊車戶務帶車票會同新車戶聯名赴局禀請將原冊注銷復將新車東登錄清楚倘若舊車戶隱匿不報到次期納捐時仍歸該舊車戶輪納捐費

第四條　本署徵收車捐由四月至九月爲一季由十月至翌年三月爲一季等務於按期赴局報明每車一輛應納捐費銀三元並將車戶原籍姓名註冊以照信守

第五條　馬車裝運貨物凡四外各埠運來營口者該車頭務局禀請註明原籍名姓領取車票該票在六個月內隨便裝貨出入倘過限再爲另換新票若無車票或以舊票冒充查出定即責懲弗准放行而重捐務

第六條　凡市外城鎮馬車來營按照本規則第五條所定章程報名註冊每年每一輛納費一圓

第七條　凡馬車裝貨來營或由營運往各處者其該輸送人務宜赴局禀報該車係裝何等貨物貨主何人經理何人何處發裝運送何處均宜詳細錄明以便稽査

第八條　本署重整規則前條申告明白無論往來貨物每車一輛如裝第一種貨物應納銀洋一元若所裝係屬第二種貨物應納銀洋二角其該納之錢乃販主抑或受輸出捐局照章發給執據以憑查驗倘該車無貨物執據若經查出定行懲治決不寬貸以儆將來

第一種貨物各種穀物油餅山貨煙草蔴茶布疋綢緞紙張糖類食塩以及洋廣雜貨等類

第二種貨物如芻料秫稭谷草批柴等類

第九條　本署新立規則自宜遵守如有陽奉陰違設謀繞越若被局內查出拾圓以上百圓以下立即從重議罰並將該車充公以儆効尤

第十條　本捐務規則定於一月二十日起限有舊日訂定馬車章程均以本規發論之日乃爲一律停止

第十一條　凡裝貨物馬車如有按舊定章程第五條輸納捐費者與照新立本規第四條及第六條登錄報明相仍無異即勿庸再遵新規輸納捐費

第十二條　凡馬車裝貨由營口運往牛家屯或由牛家屯運往營口均按第八條章程輸納捐費以銀十錢預週知

豫報
昨日の氣温　最高温度九度九　最低温度零下四度九

NEWCHWANG, SUNDAY, JAN. 21, 1906.

There was a select dinner party at the American Consulate-General, last Friday evening: Lt.-Col. Yokura, Mr. and Mrs. Segawa, Mr. Nikitine, Mr., Mrs., and Miss Bandinel, Mr. H. A. Bush, Mr. Heuckendorff, and Mr. Okabe partook of the hospitality of the genial host and the gracious hostess.

We learn with regret that Mr. Rigby of the I. C. Railway stationed at Kaopantze has been taken ill. Dr. Daly of the port received a telegraphic summons through Mr. A. G. Cox last Thursday evening and hastened to Kaopantze on the following morning. Dr. Daly has not returned yet, but we hope that there is nothing alarming or serious in the patient's condition, and that he will be very shortly restored to good health under the able medical attention he has been receiving.

Mr. Chien Yung ([illegible]) of the Educational Board, Mukden, who was at the port on a visit, departed for the north, last Friday afternoon. Capt. Horikoshi, Mr. Kway, and Mr. Chun were noticed among a large crowd who went to Ninchiatun to see the official off.

We understand that a third private debate will take place at Rev. Mr. Sprent's again next Wednesday evening (the 24th.) Mr. Sammons has been voted to take the chair, and Drs. Daly and Phillips will be arrayed against each other as adversaries, at the head of a train of supporters. The debate will be conducted upon the merit of the conscription system.

It is the main object of the senior promoters of the Debating Club, to induce the junior members to take an active interest in the discussions that the long winter evenings may not be idly wasted, but instead be more instructively employed in cultivating the art of presenting their ideas before an audience in an intelligent, and, if possible, convincing whole.

"The First shall be the last."

The results of world-wide consequence accruing from the late war are many and far-reaching. None the least among them, at the International Tribunal, at least, the cunning tricks of the unscrupulous, though resourceful lowyer and his rascally client, seems to have ceased to be any longer of substantial avail. For, the Jury on whose award hangs the interests of nations in all future international differences, has been re-impanelled. Some have been challenged and dismissed. As many better qualified Jurors have been summoned, sustained, and sworn in. This re-impanelling was initiated with the outbreak of the colossal hostilities and completed soon after their termination. It has wholly changed the moral tone of the Tribunary Body, whose new motto is "Honesty is the best policy," in place of the old one "Might is right."

John Bull Esq., who was formally an object of general aversion, not to say hatred, has been elected by common choice for its foreman. "No champaign banquets or costly presents for us." The gentleman will bluntly say to the interested caller. "All we want are justice and peace. No more flourishes of eloquent harangues. No ingenious presentation of your case, either. It's no use whatever appearance of truth you may put on it. We shall base our verdict upon facts and none of your make-believe variety. We will get at the pith of the matter anyhow. Throw dust in our eyes if you can, but I say it's all waste of time. Do you seek my advice? It's quite plain. 'Go to church regularly and don't forget your prayers, before going to bed.' You see I'm a busy man, and will gladly excuse me. Good evening, Sir."

It is amusing to hear everybody concerned in the Moroccan affair claiming loud that it is he that has desired peace most. It is no less interesting to listen to the elaborate professions of sincere friendship to China, as if none of them had ever intended any harm to her. "Drop off your transparent saintly mask." They are hissing to one another. "Look out for the sharpers. Trust in me." So are they pestering the much abused China with warnings.

However, with the new Jury in the box, we may rest assured that truth will out, that every one gets his just due, and that the true mother will recover the baby, and also that the crooks will be made to pay the fine and the cost.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號（電話一六二） 店主 青木勝惠

料理 滿洲樓 西北街二百五十二號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松酒家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大和館 永世街六號 店主 前田九一郎

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋御料理 第二東京館 元神廟街 店主 松田平四郎

東京一流 かき飯

和洋御料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理

御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館 料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園提

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

營口永世街 營口印字局

◎フレノロジー 頭腦を觀察して身の上はんだんをなす 營口豐濟門街廿三號 李後氏宅の西半町 利生堂

御徳用品 新荷着急告

○食料雜貨品○

○鹽魚干魚鰹節○

○乾物色々○

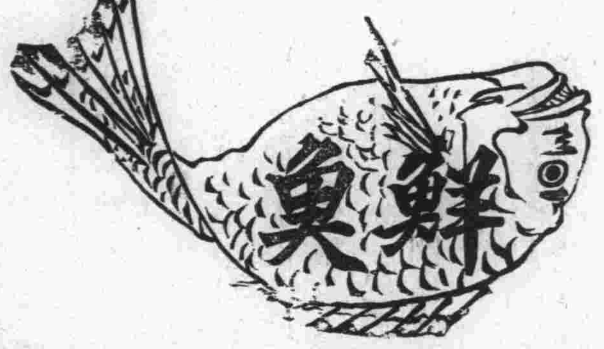
○龜甲万印醬油○

○赤白味噌○

○菓子類数種○

○銘茶各種○

林屋洋行 營口永世街警務課前南へ



弊店儀雜貨商業之處今般營業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候 敬具

營口南永世街百廿七號 ◇森屋洋行

大連大山通り二丁目 仝支店

遼陽西門外 代理店 林洋行

奉天小西門外 代理店 米田洋行

天津 御旅館 芙蓉館 駐屯軍御用 並 西洋料理 （電話第十一番）

北京 東單牌樓大街路西 扶桑旅館 客室清潔 料理鮮新

上海（電話一〇六番） 御旅館 豐陽館 日本郵船會社荷客取扱 歐米流船乘船取扱 館主 米田藤吉

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant

銘酒 菊正宗 新着!!

營口明覽中定價にて差上ます

祝新年の品 内外雜貨商 加藤洋行（營口電話八十番）

本店 天津日本租界 支店 營口 北京 出張所 遼陽 大阪

御旅館兼待合所 並にうどん、そば

今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候

牛家屯停車場前 若松家 各位様

料理 鋤燒 喜樂亭 營口元神廟街 眞主元權吉

營口中央市場前 萬事勉强乘車乘船好位置

旅館 東京樓 店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需應にず

和洋 會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

二奉天支店も本店同様に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）

奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店

各位様

慶樂温泉 清水滾々湧出 永世街一カ南側

會席料理 三日月 營口警務部前南へ

爲替相場（一月二十日）

日本向 軍票百圓に付金九十五圓五十錢

上海は 百圓に付六十七兩五錢五分

天津向 は百圓に付一百〇八五圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行調査

樽物類 菊正宗 三斗九升入 銀二十圓

麒麟正宗 四斗四升入 同十七圓

正宗 四斗四升入 同十五圓

ラッキヨ 四打入 同十三圓

辛子漬 五打 同十四圓五十錢

フキ 四打 同九圓五十錢

全 同八圓

鷲ミルク 全 同十八圓

石炭（飯塚工程局） 上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙